

報道機関各位

第22回中原中也賞の受賞作の決定

山口市長 渡辺 純忠

第22回中原中也賞を決定する中原中也賞選考会を、本日、午後1時30分から山口市湯田温泉の旅館『西村屋』にて開催し、別紙のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

【中原中也賞】

日本の近代詩史に偉大な貢献をなした山口市出身の詩人中原中也の業績を永く顕彰することを目的とします。そのため、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に対しこの賞を贈り、詩を通じて豊かな芸術文化意識の高揚をはかります。

- 主 催 山口市
- 後 援 青土社、株式会社KADOKAWA
- 対 象 平成27年12月1日から平成28年11月30日までに刊行された現代詩の詩集（奥付入りの印刷された詩集）
- 総 数 公募と推薦あわせて 188点
- 選考委員 荒川洋治（現代詩作家）、井坂洋子（詩人）、佐々木幹郎（詩人）、高橋源一郎（作家、明治学院大学教授）、蜂飼耳（詩人）
- 正 賞 中原中也ブロンズ像
- 副 賞 100万円
- 贈呈式 平成29年4月29日（土・祝）
湯田温泉ユウベルホテル松政（山口市湯田温泉）
- その他 文芸誌『ユリイカ』（青土社）4月号に、受賞作の一部と選考会の内容が掲載されます。

【参考】

- ・ 山口市湯田温泉は、中原中也の生誕地です。
- ・ 本日の選考会場となった『西村屋』葵の間は、昭和8年12月3日に中原中也（当時26歳）が、結婚式をあげたゆかりの場所で、同旅館には結婚披露宴の献立表が残っており、盃なども展示してあります。

【事務局】 山口市文化交流課内「中原中也賞事務局」

山口市亀山町2番1号 TEL 083-934-2717 FAX 083-934-2670

※ 報道資料①～⑥（PDF）につきましては、2月13日（月）午前11時頃に山口市ウェブサイトへ掲載する予定です。

※ 本日は選考会場に待機しておりますのでお問い合わせがありましたら、臨時携帯電話090-4575-1090に御連絡ください。（本日19時30分まで）

関係各位

山口市長 渡辺 純忠

第 2 2 回 中 原 中 也 賞 の 発 表

| | | | | | | | |
|---|-----------------|-------|--|------|-------------|------------|--|
| 受賞詩集 | ながさき 長崎まで | |  <p>※画像データを御希望の方は、中原中也賞事務局まで御連絡ください。 (090-4575-1090 19:30 まで)</p> | | | | |
| 著者名 | のざき あい 野崎 有以 | | | | | | |
| 出版社 | 思潮社 | 刊行年月日 | | | | 2016年5月20日 | |
| 著者の住所 | 東京都 | | | | | | |
| 年齢 | 31歳 | 生年月日 | 昭和60(1985)年12月29日 | | | | |
| 性別 | 女 | 職業 | 大学院生 | 最終学歴 | 東京大学大学院修士課程 | | |
| 《コメント》 | | | | | | | |
| <p>私は中原中也のことを「中原中也」でも「中也」でもなく「ちゅうやん」と呼んでいます。ちゅうやんがあ有名な帽子の写真を撮った写真館の近くで受賞の知らせを受けました。</p> <p>8年前、友人の発表を聴きに「中原中也の会」に行きました。その1日があまりにも楽しくて、忘れられないのです。はじめて詩を書いたとき、あの日の思い出が灯りをもとしてくれました。</p> <p>私は今和次郎(こん・わじろう)の研究をしています。かつて大学近くにあった立原道造記念館(たちはらみちぞうきねんかん)のチラシを建築の図書室に取りに行き、今和次郎の本と出会いました。立原道造(たちはらみちぞう)は『四季』誌上で行われた第1回中原中也賞の受賞者でした。</p> <p>ちゅうやんに深い縁を感じます。素晴らしい賞をありがとうございました。</p> | | | | | | | |
| 《選考経過》 | | | | | | | |
| <p>公募、推薦の詩集188点について本年1月に開催された推薦会の検討の結果、尾久守侑『国境とJ K』、ジェフリー・アングルス『わたしの日付変更線』、富岡悦子『ベルリン詩篇』、野崎有以『長崎まで』、萩野なつみ『遠葬』、山崎修平『ロックンロールは死んだらしいよ』、山下晴代『今はもう誰も杉村春子など思い出さない』、山田亮太『オバマ・グーグル』の8冊が選ばれ、本日の選考会の対象とされた。</p> <p>今回は候補作8作というこれまでで一番多い詩集の数だったが、討議のなかで、尾久守侑、富岡悦子、野崎有以の3作品が最終選考に残った。ジェフリー・アングルスの作品は他の賞を受賞したということがあり、最終候補作の4冊目として俎上に乗せることになった。</p> <p>富岡悦子の『ベルリン詩篇』はドイツの都市の第二次大戦の傷痕を訪ねる連作詩である。学識経験豊かな著者が、知識ではなく、自らの身体によって都市と向き合い、入り込もうとする力作。貴重な記録であるとも言えるが、あえて言えばその詩篇のすべてが正論であり、破れ目がない。読者を惹きつける詩の面白さに欠けているという意見が出た。尾久守侑の『国境とJ K』は、作者が男性であるにもかかわらず「J K」(女子高生)という記号によって、その記号そのものになりきれないと詩が書けないという、現在の若者の追い詰められ方に評価が集まった。最も白熱した討議の対象となったのは、野崎有以の『長崎まで』で、全篇行分けの散文詩であり、作者の語りたい欲求の切なさが詩の内容の芯となっている。架空の町の架空の自伝とも読め、しかも演歌調の語りが戦略的。詩的にならないで詩の言葉になっている。意表を突いた詩集として、受賞作に決定した。</p> | | | | | | | |
| <p>選考委員：あらかわようじ いさかようこ ささきみきろう たかはしげんいちろう はちかいのみ 選考委員：荒川洋治、井坂洋子、佐々木幹郎、高橋源一郎、蜂飼耳(50音順・敬称略)</p> | | | | | | | |

《山口市長コメント》

第22回中原中也賞が、野崎 有以さんの詩集『長崎まで』に決定しましたことを、心から御祝い申し上げます。

この度受賞されました野崎 有以さんが、今回の受賞を契機に尚一層、活躍の場を広げられ、さらなる飛躍をされますようを心から御期待申し上げます。今後とも多くの方々が、中原中也賞をひとつの目標として創作活動に励んでいただければ幸いです。

平成29年2月11日 山口市長 渡辺 純忠

※受賞者の年齢は、2017.02.11 現在

第22回中原中也賞の応募・推薦の状況

選考対象となる詩集

| | 第22回(今回) | 第21回(前回) |
|----------|---------------|---------------|
| 応募数 (A) | 179点 (173 人) | 162点 (159 人) |
| 推薦数 (B) | 9点 | 12点 |
| 合計 (A+B) | 188点 | 174点 |

応募 (A) の状況

都道府県別応募数

| | | |
|-------------|----------|------------|
| 第1位 | 東京都(31) | 東京都(34) |
| 第2位 | 神奈川県(27) | 大阪府(19) |
| 第3位 | 埼玉県(13) | 神奈川県(16) |
| 応募都道府県数 | 41都道府県 | 36都道府県+外国1 |
| 山口県(含市内)応募数 | 3点(※) | 6点 |
| 山口市内応募数 | 1点 | — |

※下関(1)山口(1)柳井(1)

年齢別応募者数

| | | |
|-------|----------------------------|---------------|
| 9歳以下 | 0人 (0.0%) | 0人 (0.0%) |
| 10代 | 0人 (0.0%) | 0人 (0.0%) |
| 20代 | 20人 (11.6%) | 18人 (11.3%) |
| 30代 | 36人 (20.8%) | 39人 (24.5%) |
| 40代 | 27人 (15.6%) | 20人 (12.6%) |
| 50代 | 32人 (18.5%) | 22人 (13.8%) |
| 60代 | 32人 (18.5%) | 40人 (25.2%) |
| 70代 | 16人 (9.2%) | 12人 (7.6%) |
| 80歳以上 | 10人 (5.8%) | 8人 (5.0%) |
| 不詳 | 0人 (0.0%) | 0人 (0.0%) |
| 最年少 | 20歳(熊本県・女) | 21歳(大阪府・女) |
| 最年長 | 86歳 (埼玉県・男、群馬県・男、岐阜県・男) | 86歳(埼玉県・男) |

性別

| | | |
|----|---------------|---------------|
| 男性 | 79人 (45.7%) | 75人 (47.2%) |
| 女性 | 94人 (54.3%) | 84人 (52.8%) |
| 不明 | 0人 (0.0%) | 0人 (0.0%) |

第22回中原中也賞最終候補作品

| ふりがな 詩集名 | 出版社 | ふりがな 作者名 | 年齢 | 作者住所 |
|--|-----|----------------------------|----|------|
| こっきょうとじえーけー 国境とJK | 思潮社 | おぎゅう かみゆ 尾久 守侑 | 27 | 東京都 |
| わたしのひづけへんこうせん わたしの日付変更線 | 思潮社 | じえふりー・あんぐるす ジェフリー・アングルス | 45 | 米国 |
| べるりんしへん ベルリン詩篇 | 思潮社 | とみおか えつこ 富岡 悦子 | 57 | 東京都 |
| ながさきまで 長崎まで | 思潮社 | のざき あい 野崎 有以 | 31 | 東京都 |
| えんそう 遠葬 | 思潮社 | はぎの なつみ 萩野 なつみ | 34 | 神奈川県 |
| ろっくんろーるはしんだらしいよ ロックンロールは死んだらしいよ | 思潮社 | やまざき しゅうへい 山崎 修平 | 32 | 東京都 |
| いまはもうだれもすぎむらはるこなどおもいださない 今はもう誰も杉村春子など思い出さない | 私家版 | やました はるよ 山下 晴代 | 63 | 福岡県 |
| おばま・ぐーぐる オバマ・グーグル | 思潮社 | やまだ りょうた 山田 亮太 | 34 | 東京都 |

※作者名五十音順

※年齢は平成29年2月11日現在

中原中也賞選考委員の横顔 (五十音順)

荒川 洋治 <あらかわ ようじ> 現代詩作家

1949年福井県生まれ。早稲田大学第一文学部文芸科卒。詩集『水駅』（1975年）で第26回H氏賞を、1998年、『渡世』で第28回高見順賞を、2000年、『空中の茱萸(ぐみ)』で第51回読売文学賞を受賞。詩集『現代詩文庫・荒川洋治詩集』正・続、評論集『夜のある町で』『詩とことば』他。2005年、詩集『心理』で第13回萩原朔太郎賞を受賞。2006年、評論集『文芸時評という感想』で第5回小林秀雄賞を受賞。2016年、評論集『過去をもつ人』で第70回毎日出版文化賞書評賞を受賞。

井坂 洋子 <いさか ようこ> 詩人

1949年東京都生まれ。上智大学国文科卒業。1982年詩集『G I G I』で第33回H氏賞受賞、1995年詩集『地上がまんべんなく明るんで』で第25回高見順賞受賞、2003年『箱入豹』で第41回藤村記念歷程賞受賞、2011年『嵐の前』で第2回鮎川信夫賞受賞。主な詩集に『朝礼』『愛の発生』『バイオリン族』『井坂洋子詩集』『地に墜ちれば済む』、エッセイ及び評論に『夜の展覧会』『<詩>の誘惑』『永瀬清子』『はじめの穴 終わりの口』、物語に『月のさかな』などがある。

佐々木 幹郎 <ささき みきろう> 詩人

1947年奈良県に生まれ大阪で育つ。70年詩集『死者の鞭』を刊行後、現在までに詩集、評論・エッセイ集など多数。84年米国ミシガン州立オークランド大学に客員詩人として招聘。主な詩集に『蜂蜜採り』（第22回高見順賞）『砂から』『悲歌が生まれるまで』、評論集に『中原中也』（第10回サントリー学芸賞）『自転車乗りの夢』『中原中也 悲しみからはじまる』、エッセイ集に『やわらかく、壊れる』『瓦礫の下から唄が聴こえる』など。2003年、『アジア海道紀行』で第54回読売文学賞（随筆・紀行賞）を受賞。2012年、詩集『明日』で第20回萩原朔太郎賞を受賞。『新編中原中也全集』編集委員。

高橋 源一郎 <たかはし げんいちろう> 作家・明治学院大学教授

1951年広島県生まれ。1982年、小説『さようなら、ギャングたち』でデビュー。1988年、『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞、2002年、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞を受賞。2012年、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。その他著書に『虹の彼方に』『ジョン・レノン対火星人』『ミヤザワケンジ・グレーテストヒッツ』『官能小説家』『君が代は千代に八千代に』などがある。

蜂飼 耳 <はちかい みみ> 詩人

1974年神奈川県生まれ。2000年、詩集『いまにもうるおっていく陣地』で第5回中原中也賞を受賞。2006年、詩集『食うものは食われる夜』で第56回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2006年、神奈川県文化賞未来賞を受賞。2016年、詩集『顔をあらう水』で第7回鮎川信夫賞を受賞。小説『紅水晶』『転身』、文集『孔雀の羽の目がみてる』『空席日誌』『おいしそうな草』など。童話『のろのろひつじとせかせかひつじ』など。2012年、絵本『うきわねこ』で第59回産経児童出版文化賞を受賞。

過去の受賞作品

| 受賞回 | 氏名 | 詩集 | 出版社 | 受賞当時の年齢 |
|------|--------------------|---------------------|-----------|---------|
| 第1回 | とよはら きよあき 豊原 清明 | 夜の人工の木 | 霧工房 | 18 |
| 第2回 | はせべ なみえ 長谷部 奈美江 | もしくは、リンドバーグの畑 | 思潮社 | 37 |
| 第3回 | そん みんほ 宋 敏鎬 | ブルックリン | 青土社 | 34 |
| 第4回 | わごう りょういち 和合 亮一 | AFTER | 思潮社 | 30 |
| 第5回 | はちかい みみ 蜂飼 耳 | いまにもうるおっていく陣地 | 紫陽社 | 25 |
| 第6回 | アーサー・ビナード | 釣り上げては | 思潮社 | 33 |
| 第7回 | ひわ さとこ 日和 聡子 | びるま | 私家版 | 26 |
| 第8回 | なかむら めぐみ 中村 恵美 | 火よ！ | 書肆山田 | 31 |
| 第9回 | くたに きじ 久谷 雉 | 昼も夜も | ミッドナイトプレス | 19 |
| 第10回 | みすみ みづき 三角 みづ紀 | オウバアキル | 思潮社 | 23 |
| 第11回 | みなした きりう 水無田 気流 | 音速平和sonic peace | 思潮社 | 35 |
| 第12回 | すとう ようへい 須藤 洋平 | みちのく鉄砲店 | 私家版 | 29 |
| 第13回 | さいはて たひ 最果 タヒ | グッド・モーニング | 思潮社 | 21 |
| 第14回 | かわかみ みえこ 川上 未映子 | 先端で、さすわ さされるわ そらええわ | 青土社 | 32 |
| 第15回 | ふづき ゆみ 文月 悠光 | 適切な世界の適切ならざる私 | 思潮社 | 18 |
| 第16回 | へんみ よう 辺見 庸 | 生首 | 毎日新聞社 | 66 |
| 第17回 | あけがた みせい 暁方 ミセイ | ウイルスちゃん | 思潮社 | 23 |
| 第18回 | ほそだ でんぞう 細田 傳造 | 谷間の百合 | 書肆山田 | 69 |
| 第19回 | おおさき さやか 大崎 清夏 | 指差すことができない | アナグマ社 | 31 |
| 第20回 | おかもと けい 岡本 啓 | グラフィティ | 思潮社 | 31 |
| 第21回 | かにえ・なは カニエ・ナハ | 用意された食卓 | 私家版 | 35 |